

# 第1学年 国語科学習指導案

日 時	令和3年12月3日(金)
第5校時	13:55~14:40
場 所	尼崎市立難波小学校1年1組教室
対 象	1年1組30名(男子16名 女子14名)
指 導 者	森本 真梨子

1. 単元名 せつめいする 文しょうを かこう  
教材名 「じどう車ずかんを つくろう」

## 2. 単元目標

- ・事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。【思考力・判断力・表現力等】
- ・事柄の順序など情報と情報の関係について理解することができる。【知識及び技能】
- ・興味を持って情報を集め、説明の順序に気を付けながら、自分でも自動車図鑑を作ろうとしている。  
【学びに向かう力・人間性等】

## 3. 指導にあたって

### (1) 児童観

本学級の児童はこれまで「おおきくなった」の学習で、対象を観察して気付いたことを簡単な語句を用いて書くことを学んだ。生活科の朝顔の観察に生かすことができ、回を重ねるごとに表現の仕方に工夫が見られた。さらに「しらせたいな、見せたいな」の学習では対象を詳しく観察し、特徴を説明する活動を行った。その際、自分が興味を持ったものを書くことや、家の人に知らせるといった目標を持つことで意欲的に取り組むことができた。コロナ禍の影響で、話し合いでの意見の交換は少なかったが、それぞれのノートを読み合うことで、自分と違った表現に興味を持つ児童が増えてきた。しかし、書くことに苦手意識を持つ児童がいたり、文字や言葉の習得ができていない児童がいたりする。そのため、学力の差は大きい。1学期からMIM教材を使って、拗音や促音などの練習を行ってきたが、読めても書くことが難しい児童がいるのが現状である。

### (2) 教材観

本教材は、多くの児童が興味を持ちやすい自動車を題材として説明文を書く教材となっている。前単元の「じどう車くらべ」で、自動車の「しごと」と「つくり」に着目しているため、構成を考えて文章を書くことは難しいことではないと思われる。しかし、図鑑や絵本の文字や写真・絵から適切な情報を取り出したり、取り出した情報どうしを結び付けたりすることは難しいと考えられる。そこで、教材の挿絵や作例を上手く活用したいと考える。さらに、図鑑を作るだけでなく、多くの人に見てもらおうことで達成感や満足感が得られる教材として活用したい。

### (3) 指導観

指導にあたっては、「書きたい」という児童の気持ちを大切にして、見通しや目標を分かりやすく設定し共有する。それと合わせて第一次では、十分な数の図鑑を用意したり、タブレットを使用したりして、興味を持って情報を集められるようにする。

第二次では、ふさわしい情報を集めることが必要なため、話し合い活動を取り入れて、熟考させたい。また、説明文を書く際には、作例や定型文・重要語句などに着目させて、分かりやすく順序立てて書けるように指導する。支援が必要な児童には、机間指導を行い声かけをして、意欲的に活動できるよう指導する。

第三次では、クラスで感想を伝え合い、家庭や他学年(図書室)に協力してもらいながら、友だちや自分のよいところを見つけたり認めたりすることで、達成感や満足感を得、今後の活動の動機付けにしたい。

#### 4. 指導計画 全7時間 (本時4/7)

次	時	学習活動	評価規準
第一次	1	・「じどう車ずかん」の作り方を確かめ、学習の見通しを持つ。	【知識及び技能】「じどう車ずかん」の作り方を話し合い、学習の見通しを持とうとしている。(発言) 【主体的に学習に取り組む態度】興味のある自動車を探している。(態度)
	2	・自分の好きな自動車を探したり選んだりする。 ・選んだ自動車の写真を撮って資料を作る。	
第二次	3	・タブレットや本を使って紹介したい自動車の「しごと」について調べる。 ・調べたことをもとに、自動車の「しごと」をワークシートに記入する。	【知識及び技能】「しごと」や「つくり」を見つけている。(記述・発言) 【思考力・判断力・表現力等】紹介したい自動車の情報を集め、「しごと」に合わせた「つくり」を選んでいる。(記述) 【主体的に学習に取り組む態度】「しごと」に合った「つくり」を友だちに伝えようとしている。(態度・発言) 【思考力・判断力・表現力等】調べたことをもとに、「しごと」と「つくり」の順で紹介文を書いている。(記述)
	4 本時	・タブレットを使って紹介したい自動車の「つくり」を考えて、ワークシートに書き出す。 ・「しごと」に合った「つくり」を選ぶ。	
	5	・前時で選んだ「しごと」と「つくり」を使って、順序に気を付けながら紹介文を書く。	
	6	・紹介文に間違いがないか確認し、絵を描いて「じどう車ずかん」を完成させる。	
第三次	7	・「じどう車ずかん」を読んで感想を伝え合う。(タブレットを利用する) ・学習を振り返り、友だちや自分の文章のよいところを見つけて書く。	【思考力・判断力・表現力等】「じどう車ずかん」を読んで感想を伝え合うことを通して、友だちや自分の文章のよいところを見つけている。(発言・記述)

#### 5. 本時の学習 (4/7)

##### (1) 本時の目標

- ・自分の選んだ自動車の「つくり」を考えて、「しごと」に合った「つくり」を選ぶことができる。
- ・書いたものをペアの友だちや学級全体で交流し、対話を通して自己有能感を高めることができる。

##### (2) 準備物

タブレット、テレビ、ワークシート、ワークシートの拡大図

##### (3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価
1. 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。	・前時までの学習内容を想起させ、本時の活動を明確にする。	
「しごと」にあった「つくり」をえらぼう。		
2. 自動車の「つくり」を考える。 ①タブレットを使い、自動車の写真から「つくり」を見つけて、「つくり」に印をつける。 ②見つけた「つくり」をワークシートに書き出す。	・これまでの学習の例文や絵を示しながら、「つくり」について確認する。 ・定型文を使って書くとよいことを指導する。	【知識及び技能】「つくり」を見つけて、タブレットやワークシートに記入している。(タブレット、ワークシート)
3. 「しごと」に合った「つくり」		

<p>であるか考える。          (個人で)          「しごと」に合った「つくり」を選び、矢印でつなぐ。          (ペアで)          意見を交流し、「しごと」と「つくり」が合っているか確認する。          (全体で)          意見を交流し、共有する。</p> <p>4. 本時の振り返りをする。          ノートに分かったことや感想などを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習の例文や自動車の絵を示しながら「しごと」と「つくり」の関係を確認する。</li> <li>・「そのために」の言葉に注目したり、タブレットの絵を見たりして、正しいかどうか判断させる。</li> <li>・板書やテレビを効果的に使用する。</li> <li>・よいものを紹介する。</li> </ul>	<p>【思考力・判断力・表現力等】矢印で「しごと」と「つくり」をつなぎ自分の考えを記入している。(ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自分の考えを友だちに伝えようとしている。(発言・発表)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学んだことを振り返り、自分の考えを書いている。(ノート)</p>
<p>5. 次時の活動を聞く。</p>		

(4) 本時の視点

「しごと」に合った「つくり」を選ぶことの手立てとして、ワークシートやペア活動は有効であったか。

評価規準

	A	B
<p>【知識及び技能】            必要な情報について理解している。</p>	<p>見つけた「つくり」を、定型文等を使って文にしてワークシートに書き出している。</p>	<p>「つくり」を見つけて、タブレットに印をつけている。また、それらをワークシートに書き出している。</p>
<p>【思考力・判断力・表現力等】            情報と情報の関係について理解している。</p>	<p>「しごと」に合った「つくり」を考え、正しく選んで矢印で表している。</p>	<p>「しごと」に合った「つくり」を考え、矢印で表している。</p>
<p>【主体的に学習に取り組む態度】            分かりやすい説明の仕方について興味をもち、自動車図鑑を作ることに意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>「しごと」に合った「つくり」を、『そのために、』という言葉でつなぎ、文にして友だちに伝えている。            「しごと」と「つくり」の関係について書いたり、友だちの意見について考えたことを書いたりしている。</p>	<p>「しごと」に合った「つくり」を友だちに伝えている。(発言・指さし等)            授業の感想など自分の思ったことを書いている。</p>



↑ 教室掲示



↑ 大型モニターで発表



↑ タブレット PC を活用



↑ 全体に発表



↑ ワークシートの説明



↑ ペアトーク